



役職等はすべて取材日時時点のものです。

- 「地域連携だより Face to Face」は、紙面版「顔の見える会議」をコンセプトとした、主に医療職・介護関係職などの、ケアを担う多職種向け情報紙です。地域の様々な情報が皆様に共有されることで、顔の見える関係構築や相互理解推進の一助となることを目指しています。
- 地域連携だよりは、地域包括ケアシステムの充実に資する皆様の取組みを広く一般にも周知するため、市ホームページで公開しています。

## ～“クチ”からつながる多職種連携～

### 認知症のための「歯科×他職種」連携推進研修会を開催

1月26日、釜石情報交流センター チームスマイル釜石 PIT を会場として、ハイブリット形式の研修会を開催しました。この研修会は、令和3年度岩手県歯科医師会「歯科医師の認知症対応力向上研修事業」の一環として岩手県歯科医師会・釜石歯科医師会・チームかまいしの共催で実施したもので、歯科医師ほか医療職、介護関係職、行政職など、会場とオンラインを合わせて67名が参加しました。

#### ▶ 講演「歯を失うことがもたらす変化～ 認知症の発生メカニズムを考察する～」

はじめに、釜石歯科医師会の山崎薫子専務理事による講演が行われました。

近年は口腔機能と全身機能の関連性が注目されていますが、ラットを用いた実験においても、歯の喪失は脳に影響を及ぼし、学習記憶能力の低下や脳機能の維持のリスク要因となること等が明らかになったということでした。



12/1の実習の様子を動画で視聴しました

#### ▶ パネルディスカッション「歯科が進める多職種連携」

続いて釜石歯科医師会の山崎泰嗣理事が座長を務めるパネルディスカッションが行われ、「医科診療や介護の現場で役立つ歯科知識・技能を学ぶ」12月の実習に参加した歯科医師の八重樫祐成氏、医師の寺田尚弘氏、介護支援専門員の留畑丈治氏の3名が、「歯科が進める認知症を介した多職種連携」について、各職種の視点による発表を行いました。

ディスカッションでは、「他職種が歯科分野の知識や技術を持つことは患者の健康に役立つが、地域に多職種連携の仕組みが無いと気づきを活かせない」こと等が指摘されるなど、連携の重要性が共有されました。



パネリストの留畑氏(左)と寺田氏(右)

#### ▼ 令和3年度 チームかまいし×釜石歯科医師会 連携の歩み

実施日	分類	形式	内容
8.2	相談対応	TEL	釜石歯科医師会より歯科医師会主催研修会の開催に係る相談
8.24	一次連携	オンライン	H30開催研修会で抽出した課題の振り返り、地域包括ケアの充実に資する研修会開催に向けた意見交換
10.1	二次連携 (歯科×医科)	オンライン	歯科の論文抄読会、研修会開催に向けた協議
11.5	一次連携	オンライン	1月予定の多職種対象研修会開催に向けた協議 12/1実施の実習打ち合わせ
12.1	二次連携 (歯科×医・介)	リアル参集	歯科医師を講師とする他職種対象研修会(実習)実施 「他職種を対象とした歯科口腔内診査のポイント講座」～歯科の診察を医科と介護支援専門員が学ぶ～
1.12	二次連携 (歯科×医・介)	リアル参集	研修会打ち合わせ
1.26	三次連携	ハイブリット	多職種対象：認知症患者等のための「歯科×他職種」連携推進研修会～“クチ”からつながる多職種連携～
未定	一次連携 (または二次連携)	未定	反省会、アンケート結果から見える課題の共有ほか

#### ▼ アンケート結果より

- ✚ 歯科医師にとって当たり前のことが他職種の方にとって当たり前でないこと、その逆もあることをあらためて感じた。(歯科医師)
- ✚ 「歯を失っても食形態の調整で食べることは可能、ただし歯を失ったことで起こる全身の機能低下を補うことはできない」心に刻みます。(管理栄養士)

#### ▼ 参加者内訳

歯科医師	医師	歯科衛生士	薬剤師	理学療法士	管理栄養士	看護師
16	2	3	3	4	6	4
ケアマネ・主任ケア	保健師	行政	その他	その他内訳 管理者、サービス提供責任者、県歯科医師会…各2 社会福祉士、センター所長、支援員、法人本部長、歯科商社…各1		
6	2	10	11			

## OKスクラムねっと研修会が開催されました

2月15日、釜石・大槌地域医療介護福祉多職種連携の会（通称「OKスクラムねっと」）研修会が開催されました。

平成29年度の設定以降、総会や研修会等を毎年開催し、活発な活動を続けてきたOKスクラムねっとですが、令和2年度以降はコロナ禍の影響で活動を休止していました。今回はZoomによるオンライン形式とすることで2年ぶりの研修会開催に至り、90名の多職種がオンラインで参加しました。

研修会では、はじめに釜石医師会の寺田尚弘理事による講演「釜石地域における地域包括ケアシステムの現状」が行われました。続いて、釜石市地域包括支援センターの萬武大主任社会福祉士が「【身寄りなし問題】を抱えた対象者への支援」をテーマとした事例紹介を行い、県立釜石病院地域医療福祉連携室の佐々木室長を座長とした意見交換が行われました。

地域包括ケアシステムとは？

寺田氏の講演資料より抜粋

よく使われる割に意味がぼんやりしているし、どう自分の仕事と関係するのかよくわからない。みんなが理解していないからいい仕組みなのに、五年ますますわかりにくくなっている。

- 住民が可能な限り住み慣れた場所で安心して、自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の医療・介護・予防・生活支援・住まいに関する社会資源が個々の課題やニーズに対し適切にコーディネートされた形で提供される仕組み

↓

地域にあるすべてのものを使って住民の健康課題にアプローチする仕組み

もともと高齢者を想定して考えられた仕組みですが、現在はすべての住民を対象にしています。



## OKはまゆりネットの取組みをお知らせします

令和3年12月17日、釜石医師会館において、OKはまゆりネットを運営するNPO法人釜石・大槌地域医療連携推進協議会の通常総会が、参集形式では2年ぶりに開催されました。

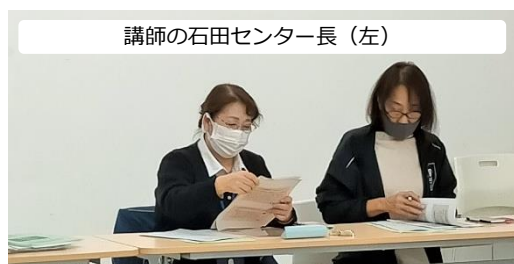
提出された議案はすべて承認されたほか、OKはまゆりネットの利用に関する職種別操作研修会の開催や、新たに「時系列ビューの閲覧件数」を病院×他職種連携の指標として活用すること、また、住民に対する普及啓発用チラシのリニューアルを予定していること等について説明がありました。



### 「在宅介護支援センター及び居宅介護支援事業所等連絡会議」が開催

市では、在宅介護支援センター及び居宅介護支援事業所と情報共有を行うための連絡会議を定期的開催しています。

11月10日の連絡会議では、釜石・遠野地域成年後見センターの石田正子センター長による講義が行われました。成年後見制度や成年後見センターの業務内容等の説明に加え、「成年後見センターをチーム・支援者の一員に加えてほしい」と呼びかけがありました。



### 包括ケア体制の充実に向けた取組み

鶴住居地区生活応援センターは、「地域で包括的に支える必要がある個別事例」について、「地区センター会議」の場では初となる協議を2月4日に行いました。

当日は、民生委員や警察、介護関係職、就労支援を行う一般社団法人等が協議に参加し、地域、行政、関係機関等ができることについて話し合い、地域支援ネットワークの充実の必要性について共有しました。






## 厚労省主催「市町村等担当者研修会議」に登壇しました

チームかまいしは、全国の市町村が取り組む「在宅医療・介護連携推進事業」を活用して、患者や利用者のQOL向上を目指した多職種連携を推進する取組みを行っています。

この程、当事業の「市町村等担当者研修会議」が、市町村・厚生局・都道府県等の担当者を対象に開催されました。（3月1日～末日までのオンデマンド配信）

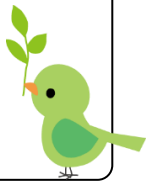
当事業は、“市町村のみの力ではなく、医療・介護の専門職間の連携を深めつつ、さらにそれらと市町村が連携のタッグを強化しながら取り組むことが重要”とされ、研修会議では、厚労省による行政説明のほか、取組みを進めている先進的な自治体として、釜石市と大分県臼杵市の事例紹介と、埼玉県立大学大学院の川越教授を座長とした事例紹介者らによるミニシンポジウムが行われました。

在宅医療連携拠点チームかまいし		@釜石市地域包括ケア推進本部事務局
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆当圏域の地域医療全体の中心的な留意事項 「県立釜石病院（地域の基幹病院）を守る！」</li> <li>◆医師会が連携拠点の役割を担ってきた H19年4月 県立釜石病院と釜石市民病院的統合 H19年6月 釜石医師会主催 「釜石・大槌地域在宅医療連携体制検討会」設置 在宅医療の推進に向けた医療と介護の連携体制の構築、コンセンサス形成、医療機能の分担と明確化、連携の課題抽出と解決策の検討</li> </ul>	
開始	厚労省モデル事業「在宅医療連携拠点事業」の採択を契機として、平成24年7月、医師会との連携体制による釜石市役所の所管業務としてスタート	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会の介護在宅診療部会長がアドバイザーとして派遣</li> <li>・一次～二次の階層別の連携手法</li> <li>・連携資源（ケアの担い手団体等）の設立や取組み等に直接・間接的に支援することで多様な主体の取組みの推進に寄与</li> </ul>	
目的	地域包括ケアシステムの充実に向けた 患者・利用者の生活の質の向上を ※包括ケアの5つの要素：医療・介護・予防・生活支援・住まい 切れ目のない医療と介護の提供体制の構築	
連携COの役割	ケアの担い手となる各職種の専門性が発揮できる環境や関係性を整えること ・職種間の連携に関するストレスを軽減すること ・職種内の温度差解消のお手伝い など	

釜石市では、▶釜石医師会との連携により当事業を推進していること ▶一次～三次連携などにより連携に関する課題や取組みの見える化を行い、職能団体等が主体となった解決策の実践や地域のコンセンサス形成につなげていること ▶釜石保健医療圏では、職能団体だけではなく、様々な主体※により患者や利用者の支え手としての取組みが推進されていること等について、今回あらためて紹介させていただきました。

チームかまいしの取組みは、関係団体等、ケアの担い手の皆様の「課題を解決したい」という思いと行動なしにはあり得ません。今後とも、宜しくお願い申し上げます。

市地域包括ケア推進本部事務局 小田島



※OK はまゆりネット、OK スクラムねっと、ケアカフェかまいし、かまいしユニゾン等

## 保健活動勉強会が開催されました

12月21日、釜石市保健福祉センターを会場に、市町・保健所の保健師や管理栄養士らが参加する「保健活動勉強会」が開催されました。

脳卒中をテーマとした今回の勉強会では、岩手医科大学医学部救急・災害・総合医学講座の大間々真一講師による講演「釜石圏域の脳卒中の実際と脳卒中発症予防」が行われました。講演では、岩手県の脳卒中死亡率は男女ともに全国平均より高く、岩手県内の脳卒中死亡率・発症率は内陸部に比べて沿岸部が高い傾向にあるとのことでした。また、幼少期から正しい生活習慣を身につけることが将来の脳卒中予防につながる等が説明され、今後の指導につながる知識を得ることができました。

その他、市保健師による「特定健診における高血圧者受診勧奨の結果について」の現状報告や、脳卒中予防の保健活動をテーマとしたグループワークが行われるなど、充実した内容の勉強会となりました。



釜石市出身の大間々先生

## 企業による地域支援の取組み



参加者には野菜ジュースのプレゼントも

令和4年1月、釜石市と明治安田生命保険相互会社は、高齢者の支援、市民の健康づくり、環境保護活動支援等の幅広い分野における包括連携協定を締結しました。その一環として、市内45団体が取り組む「いきいき100歳体操」に明治安田生命が協力する取組みが始まりました。

2月8日には「片岸きらきらクラブ」と「ニコニコ室浜」が行ういきいき100歳体操に明治安田生命が加わり、血管年齢チェック等を行いました。参加した皆さんは和気あいあいと楽しみながら健康意識を高めていました。

医療機関・介護施設や、その活動などを紹介する不定期連載「SEE」。今回は、一般の介護支援専門員の上級資格として2006年に設けられた「主任介護支援専門員」の皆さんをご紹介します。不定期連載の2回目です！

- 主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー/主任CM）は、一定の実務経験や「主任介護支援専門員研修」の受講等が要件となる、介護支援専門員の上級資格です。
- 主任介護支援専門員の皆さんには、介護に関わる多様なサービス（医療、福祉、行政等）の連携ネットワークの向上、他ケアマネジャーの育成・指導、ケアプラン作成支援、地域包括ケアシステムを進める実践者としての活動、事例検討会開催などの地域課題への取り組み…などの役割が期待されています。

### 大槌町社協指定居宅介護支援事業所

CM歴：16年  
主任CM歴：8年

#### 加治木 敏枝 さん



- 主任CMとして注力したいこと  
地域の中で利用者様が生活できるように多職種と連携し、地域とのつながりを持てるようにしていきたいです。そのため、地域の方にも介護保険について理解してもらえるように、地域の集まりにも参加できればと思います。

### ゆーらっぴ指定居宅介護支援事業所

CM歴：14年  
主任CM歴：9年

#### 芳賀 新 さん



- 地域づくりに参加して/多職種へ一言  
地域ケア会議等で地域課題を抽出し検討会を行っています。介護保険のサービス事業所が少ない大槌町では、このような検討会を行いながらのネットワーク作りや今まで以上の多職種連携が不可欠と考えます。今後も密な連携をよろしく願います。

### 指定居宅介護支援事業所やまざき

CM歴：11年  
主任CM歴：5年

#### 高室 晴実 さん



- 地域づくりの活動に参加して  
地区センター会議に出席した際、色々な方と事例検討を行い、様々な角度から意見を聞かせていただき勉強になりました。
- 多職種の皆さんへ一言  
日々の仕事が楽しく気持ちよく行えるよう頑張ります。よろしく願います！

### 居宅介護支援センター善

CM歴：10年  
主任CM歴：3カ月

#### 平野 因 さん



- 地域づくりの活動に参加して  
顔の見える連携から腹(胆?)の見える連携を目指し、ケアカフェがまいしのスタッフとしても活動しています。コロナ禍で開催できないのが残念です。
- 多職種の皆さんへ一言  
一人ではしんどい事も伴にならきと歩み続けられるはず！お互いを尊重し合い、協力し合い、次世代にこの良き輪を贈っていきたくです！

### ニチイケアセンター釜石

CM歴：22年  
主任CM歴：11年

#### 富岡 玲子 さん



- 主任CMとしてのモットー等  
「やさしさを、私たちの強さにしたい。」やさしさを生きる力に。ブランドステートメントになりますが、心掛けています。
- 地域づくりの活動に参加して  
多職種との連携は多少ありますが、地域との関わりは少ないと思います。地域の方々から頼りにされるCMになりたいです。

### ニチイケアセンター釜石

CM歴：18年  
主任CM歴：11年

#### 松浦 智佳子 さん



- 主任CMとしてのモットー等  
皆さんと一緒に地域の課題を発見し解決に導けるよう頑張ります。年を取っても笑顔で暮らせる地域づくりに貢献したいです。
- 主任CMとして注力したいこと  
介護保険サービスでは対応できない困りごとにも対応できる社会資源が増えるように努めていきたいです。

### 釜石市社協指定居宅介護支援事業所

CM歴：17年  
主任CM歴：8年

#### 鈴木 将人 さん



- 主任CMとしてのモットー等  
広い知識と笑顔で安心して生活していただけるようなケアマネになりたいです。
- 主任CMとして注力したいこと  
地域の集まりやサロン等に参加し、情報交換したり地域課題に向き合ったりしていきたいです。

### 釜石市社協指定居宅介護支援事業所

CM歴：11年  
主任CM歴：7年

#### 水戸 ゆかり さん



- 主任CMとしてのモットー等  
相手の話を傾聴することを心がけています。
- 主任CMとして注力したいこと  
幅広い知識を身につけ、利用者様の支援に役立てたいと思います。

釜石・大槌  
地域の

主任介護支援専門員の皆さんの「顔と名前と心意気#2」、不定期連載でご紹介します！

【発行】在宅医療連携拠点チームかまいし

〒026-0025 釜石市大渡町3丁目15番26号 釜石市地域包括ケア推進本部事務局

TEL 0193-55-4536 FAX 0193-22-6375 E-mail kea@city.kamaishi.iwate.jp

【HP】<https://www.city.kamaishi.iwate.jp/category/bunya/tiikihoukatukea/zaitakuiryourenkei/>

【FB】<https://www.facebook.com/teamkamaishi/>

QRコード読み取りでスマホからアクセスできます→

ホームページ



Facebook

